

主な出来事

【内政】

- 1日、人民代表議会は、女性初となる連邦最高裁判所の新長官にマアザ・アシェナフィ氏を任命。
- 2日、南部諸民族州議会は、シダマ県の州昇格に向けた要請が憲法に従って実施される旨決定。
- 13日、連邦警察は、元MetEC最高経営責任者であるキンフェ少将を、スーダンへの逃亡を試みている途中で逮捕。
- 15日、元国家情報治安局(NISS)副長官で元連邦警察長官のヤレド・ゼリフン氏が人権侵害及び汚職の容疑で逮捕された。
- 22日、人民代表議会は、国家選挙管理委員会(NEBE)新委員長に、元野党指導者であるビルトゥカン・ミデクサ氏を任命。
- 27日、アビイ首相は、81の野党の指導者及び党員と協議を行った。
- 28日、ODP(オロモ民主党)とOLF(オロモ解放戦線)は、協働の方向で合意。

【外政】

- 9日、アビイ首相の招きでイサイアス・エリトリア大統領及びファルマージョ・ソマリア大統領が当地を訪問し、第二回三首脳会談等を行った。
- 29日-30日、ナージュ米國務次官補は当地を訪問し、ウォックナー外相等と会談した。

【経済】

- アビイ首相はアフリカとのコンパクト・投資サミットにおいて、加盟国に対して投資を呼びかけた。
- 国家計画・開発委員会は2017/2018年度のGDP成長率は過去10年で最低の7.7%と発表。
- 6日、議会は世界銀行との1.75億米ドルの融資契約を承認。
- 8日、水・灌漑・電力省は新電力料金を発表。産業界向け電力料金は3倍に上昇。
- エチオピア航空はアディスアババーモガディシュ(ソマリア)間の運行を41年ぶりに再開。

【内政】

- 1日、人民代表議会(当国下院)は、女性初となる連邦最高裁判所の新長官にマアザ・アシェナフィ氏を任命した(1日, ENA)。
- 2日、南部諸民族州議会は、シダマ県の州昇格に向けた要請が憲法に従って実施される旨決定した(2日, FBC)。
- 3日、ムラトゥ前大統領は、大統領府での式典にて、大統領在任中の功績を称える勲章を授

与された(4日, ENA)。

- 12日, 連邦警察は, 過去20年間に渡る人権侵害及び汚職容疑で63名が拘束された(12日, ENA)。
- 12日, 与党ADPが野党ADFM(Amhara Democratic Forces Movement)(注: エリトリアに拠点を持っていた元武装勢力で, 本年8月にエチオピア政府と和平合意に署名して以降はエチオピアに帰還していた)と統合し, ADPとして活動していく旨合意(12日, FBC アムハラ語版)。
- 13日, 連邦警察は, 元MetEC最高経営責任者であるキンフェ少将を, スーダンへの逃亡を試みている途中で逮捕した(13日, ENA)。
- 15日, 元国家情報治安局(NISS)副長官で元連邦警察長官のヤレド・ゼリフン氏が人権侵害及び汚職の容疑で逮捕された(15日, ENA)。
- 22日, 人民代表議会は, 国家選挙管理委員会(NEBE)新委員長に, 元野党指導者であるビルトゥカン・ミデクサ氏を任命した(22日, ENA)。
- 27日, アビィ首相は, 81の野党(最近エチオピアに帰国した野党を含む)の指導者及び党員と協議し, 進展中の改革, 民主主義及び次期選挙に向けた選挙制度改革等について議論した(27日, ENA)。
- 28日, レンマODP(オロモ民主党)副議長(兼オロミア州知事)とダウドOLF(オロモ解放戦線)議長は, 両党の協働につき合意した(28日, FBC)。

【外政】

- 9日, アビィ首相の招きでイサイアス・エリトリア大統領及びファルマージョ・ソマリア大統領がアムハラ州を訪問したほか, 第二回三首脳会談を行った(9日, FBC)。
- 14日, 当国首相府は, エリトリアの国連安保理制裁解除に関し, エリトリア政府及び国民に祝意を表し, また, 制裁解除の呼び掛けへの国連安保理の対応に謝意を表明した(14日, 首相府プレスリリース)
- 29日-30日, ナージュ米国務次官補は当地を訪問し, ウォックナー外相, アイシャ防衛相, ムフェリハット平和相及びアーメド財務相と会談を行った(29日-30日, ENA/FBC)。

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- アビィ首相は, ベルリンで開催されたアフリカとのコンパクト・投資サミットにおいて, 加盟国に対してエチオピアは競争性のある投資機会を提供しており, エチオピアに投資をするよう呼びかけた。(1日, The Ethiopian Herald)
- アビィ首相は, 欧州ツアーの最後としてフランクフルトにおいてディアスポラに対して国家建設及支援及びエチオピアに新たな考えを持ち込むことを呼びかけた。(2日, The Daily Monitor)
- イナゲル・エチオピア国立銀行(NBE)総裁は, エチオピア商品取引所の取締役会会長に任

命された。(3日, The Reporter)

- 国家計画・開発委員会は、昨年度の GDP 成長率は過去 10 年間で最低の 7.7%であったと発表した。一人当たり GDP は 882 米ドルとなった。(4日, Fortune)
- 6日, 首相府官房長のフィツム・アレガ氏をエチオピア投資委員会(EIC)委員長に任命した。同氏は首相府官房長に就任する前にも EIC 委員長を務めていた。(6日, The Daily Monitor)
- 首相府は公開討論のための1ページからなる国の直面する挑戦リストを明らかにした。同リストには民主主義の欠落, 法の支配, 著しい外貨不足, 若年失業者, 緩慢な経済構造改革, 伝統的農業経験などが含まれる。(6日, The Ethiopian Herald)
- 6日, 議会は世界銀行(WB)との 1.75 億米ドルの融資契約を承認した。同資金は投資の促進を通じた就業機会の創出等に費やされる。(7日, The Daily Monitor)
- 8日, エチオピア国立銀行(NBE)は, 資産の分類及び引当金に係る新たな指令を発出した。同指令により商業銀行は融資の条件等を自由に見直すことが可能となる。(11日, Fortune)
- 中央統計局によると, インフレ率は3ヶ月連続で下落し, 10月のインフレ率は 11.5%(前月比 0.5%減)となった。食糧分野のインフレ率は 12.7%(前月比 0.8%減)。(11日, Fortune)
- 世界銀行グループは, 証券市場の実現化のために来月専門家をエチオピアに派遣すると発表した。世界銀行は既に国営企業の民営化実施に係る委員会への技術支援を行っている。(18日, Capital)

2. 貿易・投資・ビジネス

- エチオピア商品取引所(ECX)は新たに大豆及びひよこまめを取扱商品に追加し, 合計 9 つの商品を取扱う。(4日, Fortune)
- サンシャイングループの NF Plastic はエチオピア開発銀行(DBE)の設備貸与金融支援により, 1700 万ブルの拡張工事を実施している。NF Plastic は 2 年前にサンシャイン・クリーニング向けハンガー製造のため設立され, 拡張工事によりクリーニング向けプラスチック・シートを製造する予定。(4日, Fortune)
- トルコはティグライ州において 7.5 億ユーロ規模の工業団地を建設する。同建設工事は翌 3 月より開始され 2 年間で完了する見込み。(4日, Fortune)
- 貿易・工業省によると第 1 四半期の輸出高は 6.28 億米ドル。最大の輸出先はソマリランドであり, 米国, オランダが続く。(4日, Fortune)
- エチオピア政府は 2 ヶ月前に国家物流戦略を策定し, 物流委員会の設置に向けて取り組んでいる。必要な取組の実施により, 政府は 2018/2019 年度までにドライポートにおけるコンテナ取扱期間を現行の 47 日から 2 日に削減する計画。(10日, The Ethiopian Herald)
- モロッコの Attijariwafa 銀行は来年後半にアフリカにおいて銀行を買収する計画があり, ルワンダ, ケニア, エチオピアに機会があるとみている。(10-12日, The Daily Monitor)
- 19日, Eagle Hills(UAE)は 20 億米ドルの統合地域開発プロジェクトの立ち上げを行った。同立ち上げ式に出席したアビィ首相は, 同プロジェクトはモール, 4000 戸のアパート, ミツ星ホ

テル、レクリエーションセンターが含まれ、エチオピア政府が 27%のシェアを保有すると述べた。同プロジェクトは 7 年間かけて完成する見込み。(22 日, The Daily Monitor)

- Xylem Inc.(米)は水・灌漑・エネルギー省と水セキュリティ基準の向上のための最先端の水技術の提供に係る覚書に署名した。(22 日, The Daily Monitor)
- 英国国際貿易省アフリカ貿易長官率いる 25 名のビジネスミッションがエチオピアを訪問し、フィツム・エチオピア投資委員会委員長をはじめとする 7 の省庁と意見交換を行った。(24 日, The Reporter)
- TECNO ブランドの携帯電話製造会社 Transsion は、来年、アディスアベバに中国ブランドの IVY ホテルを立ち上げる。投資は 100 万米ドルの見込み。(24 日, The Reporter)
- 23 日、57 社 100 名の中国訪問団は中国浙江省・エチオピア貿易投資シンポジウムを開催した。また、海外で 3 拠点目となる商業・貿易仲裁リエゾンオフィスを開設した。(24 日, The Reporter)
- 23 日、第 8 回国際豆類・脂肪種子・スパイス会議において、地元製造事業者は国際市場へのアクセスに課題があり、政府は大使館等を通じて支援すべきと訴えた。(24-26 日 The Daily Monitor)
- アディスアベバ貿易局は貿易登録・ビジネスライセンスの取得を容易にするためオンライン申請を導入する。同システムは地元企業 Custor Computing Plc が開発している。(25 日, Fortune)
- エチオピア・コーヒー茶協会のレポートによると、2018/2019 年度の前 4 ヶ月間に 76,853 トン、2.57 億米ドルのコーヒーを輸出した。前年同期比と比較して輸出高は 7.7%減、輸出量は 3%増。(25 日, Capital)
- アビィ首相はアハメド・ハムザ氏を軍需公社 MetEC の新社長に任命した。(25 日, Fortune)

3. エネルギー

- 国際金融公社(IFC)は、12 億米ドルの 500MW 太陽光発電プロジェクトを承認した。同プロジェクトは PPP フレームワークの下で実施され、第 1 フェーズとして 250MW が実施される見込み。(3 日, The Reporter)
- エチオピア配電公社(EEU)は、新たな電力料金を公表した。新電力料金は 4 年間・4 フェーズに分けて順次適用される。(4 日, Fortune)
- 8 日、水・灌漑・電力省は新電力料金を発表した。産業界との対話において、フレヒウオット国務大臣は新料金は今後 4 年間で毎年段階的に適用されると述べた。産業界向け電力料金は 3 倍に上昇する。(10 日, The Reporter)

4. 工業・運輸

- エチオピア航空は 41 年ぶりにアディスアベバ―モガディシュ(ソマリア)間の運行を再開した。(10 日, The Reporter)

- 10日、エチオピア貨物・物流サービス公社は8機目となるB777貨物輸送機を受領した。同社の2025ビジョンでは、19機の貨物輸送機により82トンの貨物輸送を行い、20億米ドルを創出する計画。(13日, The Daily Monitor)
- 27日、エチオピア航空はアフリカ航空会社協会による2018年アフリカ最優秀航空会社に選定された。(28日, The Daily Monitor)
- 工業団地開発公社は、3ヶ月以内に6つの工業団地の運営を開始すると述べた。エチオピア政府は11の工業団地開発を計画しており、そのうち5つの工業団地が運営を開始している。(28日, The Daily Monitor)

5. その他

- アルケベ首相特別顧問は、二国間の経済関係強化に貢献したとして、日本政府より旭日重光章を受賞した。(10-12日, The Daily Monitor)
- エチオピア警察は汚職及び人権侵害に関与したとして63名超の軍需公社MetEC及び諜報機関の職員を逮捕した。MetECのケースでは、2004-2010年度において公式の手順を取らず20億米ドルの国際調達を実施していた。(13日, The Daily Monitor)
- 警察はスーダンに逃走しようとしていた前MetEC社長を逮捕した。(14日, The Ethiopian Herald)
- 22日、ワークショップが開催され、農業省は栄養失調を低減することを目的とした5カ年国家栄養敏感農業戦略(National Nutritional Sensitive Agriculture Strategy)を立ち上げた。(23日, The Ethiopian Herald)
- 国連人道問題調整事務所(OCHA)は、2018年下半年に食糧及び金銭支援を必要とする人口数は大きく変わらないと述べた。エチオピア政府及び人道支援パートナーは4.78億米ドルの資金不足に直面している。(28日, The Daily Monitor)
- 28日、ウォックナー外務大臣はナイロビで開催された持続的ブルーエコノミー会議に出席し、現在及び将来の人類のため、包摂的・持続的方法で水資源を開発すべきと述べた。(29日, The Ethiopian Herald)

6. 各国動向

- 米国政府は3つのヘルスセンターをアムハラ州に引き渡すと発表した。同ヘルスセンターはUSAIDの支援によるエチオピア健康インフラ・プログラムとして建設された。(2日, The Daily Monitor)
- 2日、エチオピア政府と世界銀行は13.5億米ドルの2つの金融支援に合意した。1つはエチオピア成長競争力開発政策プログラムとして12億米ドルが無償及び融資の形で提供される。もう1つは技術プロジェクトとして職業訓練所(TIVET)の改革支援に1.5億米ドルが提供される。(3日, The Ethiopian Herald)
- エチオピアを来訪したスタウスボル欧州委員会国際開発協力課長代行は、アハメド財務大

臣と面談し、両者の協力を強化することにつき合意した。(10-12日, The Daily Monitor)

- 6日, 世界保健機関(WHO)は, 145万本の黄熱病ワクチンをエチオピアに供与すると発表した。(10日, The Reporter)
- USAIDとエチオピア教育省はグレード1-8の学生の読み書き能力の向上を目的としたREAD IIプロジェクト(5年間, 8600万米ドル)を立ち上げた。(11日, Capital)
- 15日, 日本政府の支援による国立イネ研究研修センターの落成式が行われ, 松永駐エチオピア日本国大使, ゲデウ・アムハラ州大統領等が出席した。(20-21日, The Daily Monitor)
- エチオピアを来訪したビベアウ・カナダ国際開発大臣は, ジェンダーの平等及び女性・少女のエンパワーメントの支援に係る2,300万米ドルの2つのイニシアティブを発表した。(20-21日, The Daily Monitor)
- アフリカ開発ファンド(ADF)はエチオピア政府の基礎的サービス向上に関し, 基礎的サービス改革補助金融(BSTP-SF)の支援として1.23億米ドルの無償支援を承認した。(22日, The Daily Monitor)
- 21日, アビィ首相は李国連開発機関(UNIDO)事務局長と面談し, 統合農業工業団地へのUNIDOの引き続きの支援について議論を行った。(22日, The Ethiopian Herald)
- 欧州投資銀行(EIB)は女性の経済包括の強化のため, エチオピア女性起業家開発プロジェクト(WEDP)に係る3,000万ユーロの融資に署名した。(23日, The Daily Monitor)
- ノルウェー政府はUNFPA及びUNICEFと両機関が実施するエチオピアにおける若者開発協同プログラム第3フェーズへの1130万米ドルの無償支援に署名した。(25日, Capital)
- 22日, エチオピア政府とデンマーク政府は, デンマーク国別プログラムの実施に係る1.5億米ドルの無償支援に署名した。同資金は包括的・持続的手法による小農家のための市場牽引型バリューチェーン強化に活用される見込み。(24-26日, The Daily Monitor)
- 28日, エチオピア政府とアイルランド政府は1,040万ユーロのプロダクティビティ・セーフティネット・プログラムに係る無償支援に署名した。(30日, The Daily Monitor)